



菩提樹

佛さまに育てられる年輪



第24号 令和8年4月発行

編集・発行
正法寺

山口市江崎2710

TEL
083-989-2213

FAX
083-989-5339



鹿児島隠れ念仏の遺跡を巡る旅 立山隠れ念仏洞前にて 令和7年11月10日(月)

今年の元旦に、NHKにおいて、「西本願寺〜伝統と葛藤〜」というドキュメンタリー番組が放送されました。ご覧になられた正法寺門徒の方々も多く、放送後、たくさんの方々の反響をいただいたことでした。

「世界遺産・西本願寺。歴史的な文化財が数多く残る大寺院の足下が揺らぎ始めている。急激な門徒の減少や寺離れなど、変わりゆく状況の中で模索を続ける僧侶達を見つめる。」というナレーションで始まった番組は、現在の本願寺教団の窮状を生々しく伝えるとともに、僧侶や御門徒の方々の思いもよく伝わるものでした。

本願寺は、親鸞聖人がご往生されて約58年後の1321年頃、親鸞聖人の曾孫にあたる覚如上人によって創建されました。最初は、親鸞聖人のお墓にお堂が建てられ、そのお堂が寺院化されたのが始まりです。ここに、法然聖人ではなく、親鸞聖人を宗祖とする新しい念仏教団が開かれていったのです。それから約140年後、本願寺第8代御門主の蓮如上人の御教化によって、本願寺教団は、飛躍的に発展していきます。蓮如上人の御教化によって、日本の仏教徒の6割以上が本願寺門徒になったとも言われます。

蓮如上人の御教化の柱は、信心獲得にありました。それは、名ばかりの仏教徒ではなく、阿弥陀如来の真実のお心をその身に一人ひとりいだき、仏様のお心によって人生が導かれられていく本物の仏教徒の誕生を目指したものでした。蓮如上人の御教化以後、本願寺教団には、宗祖親鸞聖人と同じ道が恵まれ、自らの生死を尊いものとして仰いでいく本物の仏教徒の方々が、たくさん誕生していったのです。

蓮如上人の御教化から500年以上が経過し、本願寺を取り巻く環境もずいぶん変わってしまいました。しかし、様々なものが変わっても、そこに流れ響き続けている阿弥陀如来のお慈悲は決して変わらないものです。その変わることのないお慈悲とお慈悲に照らされ、厳しいご生涯を尊く生き抜かれた親鸞聖人に出会う場として、本願寺は、大切に護られてきたのです。

約500年前、当時の住職が、京都において蓮如上人の御教化に会い、天台宗から浄土真宗の寺院に変わっていった正法寺も、思いを本願寺と共にし、歩みを重ねてきたのです。浄土真宗のお寺が護持される目的は、人間社会の中では決して遇うことのできない、仏様の清らかなで温かいお心に出会う場を護るためです。

今年度も、正法寺で多くの人が阿弥陀如来様のお慈悲に出会い、それぞれの掛け替えのない生と死を尊いものとして喜んでいける、そんなお寺での日々を大切にさせていただきます。ましましう。

(正法寺住職)



お勉強の後は、紙相撲大会で盛り上がりました。



山口南組の若院様達が、ご講師となって、子ども達にお釈迦様や親鸞聖人のことを教えてくださいました。



夕食は、正法寺仏教婦人会の皆様カレーライスをご用意くださいました。



正法寺仏教青年会のメンバーも、食器洗いのお手伝いをしてくださいました。



正法寺ではお馴染みの金光総代会長によるマジックショーも大好評でした。



夜の花火大会も素敵でした。



写経の時間です。みんな静かに集中していました。



修了式では、参加した子どもを代表して正法寺日曜学校の6年生が、感謝の言葉を披露しました。



最後は、賞品としていただいたお菓子を仲良く分け合っていました。



二日目の朝は、ラジオ体操から始まります。

山口南組子ども泊研修会お引き受け

第62回目となる山口南組子ども泊研修会が、7年ぶりに正法寺を会場に開かれました。山口南組14ヶ寺から21名の小学3年生〜小学6年生の子ども達も参加してくれました。21名中16名が、正法寺の日曜学校の子とも達でした。

令和7年8月19日(火)・20日(水)

鹿児島隠れ念仏の遺跡を巡る旅



本願寺鹿児島別院において、隠れ念仏の歴史について学びました。



山の中にある立山念仏洞



洞窟内には、小さな阿弥陀如来様が、大切に御安置されていました。



知覧特攻平和会館にも立ち寄りしました。



麴と焼酎とビールのテーマパーク、バレル・パレーに立ち寄り、麴の効能について聞かせていただきました。



洞窟内は、人が4人〜5人入れる広さです。



夜は指宿温泉において、しっかり懇親を深めました。



弾圧後に創建された鹿児島別院の荘厳さに圧倒されました。



食事も旅の楽しみの一つです。どの食事でも、とても美味しく感動しました。

江戸時代、島津家が治める薩摩藩では、約300年の長きにわたり浄土真宗のお念仏の教えを説くことも聞くことも禁止されていました。浄土真宗の門徒であることが分かると、厳しい拷問にかけられ、死罪になる人々も数多くいたといわれています。そんな状況の中で、当時の浄土真宗門徒の方々は、山の中に洞穴を掘り、夜な夜なその中に集まり、お念仏を口にし、隠れて阿弥陀如来様のお慈悲を喜んだのです。この度、正法寺門徒総勢17名で、隠れ念仏の遺跡を巡る旅に行ってきました。



令和7年11月10日(月)・11日(火)

令和8年3月7日(土)

御門徒4人と 若院が本願寺 成人式に参加

この度20歳を迎えた若院と嘉川保育園からの幼馴染でもある正法寺門徒の原田晃弘君(高根上)、高井優生君(高根中)、黒沢優太君(能楽)、黒沢亮太君(能楽)の4人が、本願寺の成人式に参加しました。寺院から5人もの参加は、全国でも正法寺だけだったようです。



住職の長女如恵(ゆきえ)が、この度無事、県立山口高校を卒業し、龍谷大学国際学部グローバルスタディーズ学科に入学しました。4年間、親鸞聖人のみ教えを建学の精神とする大学で、英語漬けの毎日を送ります。2年次には、英語圏の大学への留学も予定されています。阿弥陀如来様のお慈悲の中で、多くの御門徒の皆様のお育てをいただいたことを忘れず、様々なことに挑戦していきたいと思えます。

早朝に 響く梵鐘



毎朝6時に正法寺の梵鐘が響きます。17年間、高根上の宮本啓一さんが梵鐘を撞いてくださっています。加えて昨年の11月から、佐山東の山田悟さんも、毎朝お越しくださるようになりました。お二人が梵鐘を撞き、お一人が境内の掃き掃除をしてくださっています。その後は、本堂で、住職・坊守と一緒にお正信偈のお勤めをして帰られます。毎朝、お二人の楽しそうな笑顔が溢れています。

仏教婦人会代表紹介



山本真弓さん
西村鈴江さん
福岡延子さん

編集後記

今年、ページ数が少なくなりましたが、鹿兒島隠れ念仏を巡る旅、山口南祖子ども一泊研修会のお引き受けなど、内容の濃いものになりました。お寺での様々な活動に、御門徒なら誰でも気軽に参加できるそんなご縁となる紙面になれば嬉しいですね。今年度も、御門徒みんなで正法寺を盛り上げていきましょう。

編集委員

- 徳田 正則
- 山本 真弓
- 西村 和久
- 西村 由紀恵

正法寺ホームページ <http://www.shouhouji.com/>

「山口市正法寺」で検索して下さい。

毎月更新しています。過去の菩提樹もすべて閲覧できます。